



われら
サークル仲間
『緑』の子育て
さつき教室

中央公民館には五教室十七サークルがあり、文化祭への参加などいろいろな活動が行われています。年齢、職業は

さまざまですが、それぞれサークル仲間の和が広がって、毎回楽しく受講している皆さん。

その触れ合いの場を紹介いたします。

今回はさつき教室におじゃましました。

◇ ◇
毎月第二第四日曜日の午前

十時から中央公民館でさつき教室が開かれています。教室

生は「家でやっているのもっと盆栽の知識をつけたくて入会しました」という盆栽

が大好きな四十歳代から七十歳代の十七人。小松和

夫さんを講師に、皆さん楽しく勉強をしています。

内容は講義と実技。さつきを育てていく上でのいろいろな疑問に先生は丁寧に分かりやすく指導してくれます。

「さつきを育てるときの一番のポイントは」という

問いに「さつきは子育ての心と同じで、毎日少しずつ愛情をもって世話をすることが大切です」と話してくれました。

子育て
広場

あいさつ

親がお手本を

家庭教育学級専任講師 秦泉寺 千津



「おはよう」
「おはよう」

あっちからもこっちからも
元気のいいあいさつは
朝のはじまり
気持ちいいな
きょうもみんなと
仲よく遊ぼう

勉強もがんばろう

元気いっぱい、やる気いっ
ぱいの子どもたち。

「おはよう」の一言で、す
がすがしい一日が始まります。

朝のスタートがよければ、
その日はきっと気持ちのよい
楽しい一日になるでしょう。

あいさつは、人と人とのコ
ミュニケーションをつくるた
めの基本です。人と人が心
を通い合わせるには、お互い
の心に親しみや信頼、尊敬と
いったものがなければなりま
せん。この心は、顔を合わせ
たときの明るく気持ちのよい
あいさつによって生まれます。

親子の間には、「おはよう。い
ただきます。行ってきます。
行ってらっしゃい。」などの
習慣がある家庭からは、非行
は生まれてこないでしょう。

あいさつは、表面的な言葉
より、心の結びつきのパロ
メーターと言えるからです。

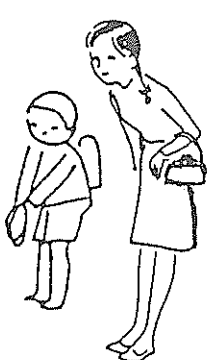
幼い子どもには、お母さん
のさわやかな声で、言葉がけ
をしてあげましょう。

子どもに親の方からあいさ
つをするということは、子ど
もが大きくなるにつれ、自分
から気持ちのよいあいさつが
できるようになる大切なしつ
けでもあります。

気持ちのよいあいさつをす
る。はきはきものを言つ。身

のまわりの整理整頓をきち
んとする。…などの習慣つけ
は、言葉で教えたからといっ
てできるものではありません。
毎日の親の生活そのものが見
本なのです。

子どもにこうなってほしい
と思ったら、まず親から「こ
れがしつけの原則です。
幼い子どものつづらな目は、
おとなをよく見えています。
また、「ありがとう」や「こ
めんなさい」が、すぐ言える
ことも大事なことです。



このことは、お手伝いや家
庭内でのいろいろなできごと
を通して、子どもが身につけ
ていくもので、毎日のひとこ
まひとこまが子どもを教え
育てる貴重な場です。

お母さんは、子どもが自分
からしようとしたときや、で
きたときには、心から喜んで
やりほめてあげましょう。

ほめ上手なお母さんであっ
てほしいと思います。

7